



Disclosure2016 August

下野農業協同組合

ディスクロージャー誌2016年8月版



栃木の自然の恵みと、大地の力で
育んだJAしもつけの安心で安全
な農畜産物を一度ご賞味あれ！

記載した金額は、表示未満を切り捨てていますので合計金額が一致しない場合があります。
記載金額が表示単位未満の場合に残高がない0のときには、-で表示しております。

JALもつかけの概況

JALもつけは栃木県の南部中央に位置し、東京から鉄道や、高速道路で約1時間の距離にあり、管内の総面積は約361平方キロメートルです。

平成15年3月1日に栃木市、都賀町、壬生町、大平町、藤岡町、岩舟町の1市5町の4JA(JALもつけ、JA水代、JA藤岡中央、JA岩舟町)が合併し新生JALもつけとして発足し13年が経過しようとしています。

管内は西部・北部周辺に標高の低い山地があり、中央部から東部にかけては関東平野の平坦地が広がり水田・畑作地帯を形成しています。耕地面積は12,940ヘクタールで、耕地率35.9%と県平均(20.6%)を大きく上回り、主な河川は東部に思川、中央には永野川・巴波川が南流し、南端の渡良瀬川と合流しており、これら水源として地区内の水田率は81.4%となっています。中央部の水田率は高く90%を超えています。気候は、年平均気温13.9℃、年間降水量1,203mmで、比較的温暖な恵まれた環境にあります。



PROFILE

平成28年8月31日現在

組合名	下野農業協同組合
本店所在地	栃木県栃木市片柳町2丁目1番44号
設立	平成11年3月1日
組合員数	21,674人
役員数	48人
職員数	447人
総資産	2,060億円
出資金	20億円
自己資本比率	15.62%
購買品取扱実績	26億円(61億円 平成28年2月末)
販売品取扱実績	58億円(104億円 平成28年2月末)
貯金残高	1,904億円
貸出金残高	228億円
長期共済保有高	5,406億円
支店数	8支店
営農経済センター数	6センター
子会社名	(株)グリーンファームしもつけ
関連会社名	(株)農協共同自動車整備センター

CONTENTS

JALもつけの概況	1
トップメッセージ	2
経営方針	2
しもつけピックス	3
地域貢献に関する取組	5
農業振興活動	5
JAくらしの活動	6
地域貢献活動	7
JALもつけの特産品	8
経営資料	9
金融再生法開示債権	9
開示債権の構成比	9
単体自己資本比率	10
主要勘定の状況	10
有価証券等の時価情報等	10
店舗一覧	11

JAのマークが意味するもの

- ✓ はアルファベットの「J」
 - ▲ は「A」の文字で、合わせて「JA」です。
- 全体で「大地」や「日本の国土」を描いています。



イメージキャラクター「シモンちゃん」は、一目で「JALもつけ」のキャラクターだと分かって頂けるよう、「しもつけ」のひらがなをモチーフにしています。大人からお子さままで親しまれる、かわいらしいキャラクターです。ロゴについては、JAマークに合わせ、読みやすく、格調と強さを感じさせるデザインになっています。豊かな大地と自然を表すグリーンと、明るく大きな大空をイメージしたブルーを基本カラーとしています。

みなさん、どうぞよろしくお願い致します。

トップメッセージ

平素より私どもJAしもつけをご利用いただき誠にありがとうございます。この度、当組合へのご理解を深めていただくために「ディスクロージャー誌2016年8月版」を作成しましたので、ご一読いただければ幸いと存じます。

当JAでは皆様からお預かりした大切な財産を安全性と流動性を重視したうえで運用しております。平成28年8月末における財務状況については、貯金残高は1,904億円、また貸出金残高については228億円、預け金残高は1,574億円、有価証券残高は51億円となりました。

また、健全経営の指標である自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る15.62%程度となり、また不良債権比率は1.08%と低水準を維持しているなど、健全な財務基盤の拡充をはかることができました。

今後とも、農家組合員及び地域の皆様とともに歩み、地域経済の発展に寄与すべく、信頼性・健全性の向上と充実したサービスの提供につとめてまいりますので、一層のご利用を賜りますようお願い申し上げます。

下野農業協同組合

代表理事組合長 **神永 信男**



かみながのぶお

平成24年度第6期代表理事
組合長就任
平成27年度第7期代表理事
組合長現職

経営方針 10年ビジョン

新しい協同の力でJAしもつけは農業と地域社会の未来を創造します。

JAしもつけの将来像設定の基本的な考え

高齢化と世代交代により農業者の減少が急速に進むことで、国内の農業生産基盤の弱体化が懸念されています。一方で、世界的な人口増加で中長期的に食料需給は逼迫することが予測されており、国民への食料安定供給のためには国内農業生産の維持・拡大が不可欠となります。JAしもつけは食料の安定供給こそ我々に課せられた使命であると再認識するとともに、食料需要の増大をチャンスと捉えて農業生産の拡大と農業者の所得増大に取り組んでいくことを決意しています。

また、集落機能低下や地域経済の停滞によって地域の活性化が失われつつある中で、JAの総合事業が持つ生活インフラ機能及び協同の理念に基づくJAくらしの活動を通じて、農業者だけでなく地域住民のくらしの課題に取り組んでいくことが求められています。

こうした状況の中でJAしもつけは、「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として、正・准組合員及び地域住民と手をたずさえて地域農業と地域社会を発展させていくことを目指しています。その実現のためにも、農業生産拡大と農業者の所得増大、さらには地域の活性化に向けた改革を断行し、協同組合としての確固たる存在感を示していかなければなりません。

この改革の実践としまして、農業やJAを取り巻く環境の変化や第5次3か年計画の実践経過を踏まえ、たうえで「改革への挑戦第6次3か年計画」を策定いたしました。我々役員は役員の決意とリーダーシップのもと組織一丸となり、この3か年計画を実践してまいります。



支店感謝デー／各店舗で大盛況



日頃のご愛顧に感謝して、各支店において、「感謝デー」を開催しました。各支店とも、花の苗や農産物、お菓子の詰め合わせの配布、お茶の試飲など、趣向を凝らした内容で、多くのお客様をおもてなしました。JAしもつけでは、これからもサービス向上に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



栃木西支店へようこそ！
おいしいトマトはいかがですか？

管内6地区で地区別座談会を開催



JAしもつけでは4月14日の栃木地区を皮切りに、21日の岩舟地区にかけて、管内6地区で平成28年度地区別座談会を開催しました。6地区合計で412人の組合員が出席し、より良いJA運営を目指して、有意義な質疑がなされました。



地区別座談会で挨拶をするJAしもつけ代表理事組合長。

ウォーキングまつり参加者に地元産農産物の料理を提供



4月10日に栃木市主催のイベント「都賀満喫ウォーキングまつり」が開催し、市内から集まった100人が参加しました。春の穏やかな陽気の中、ウォーキングを楽しみ、爽やかな汗を流しました。JAしもつけからは、営農経済センターと女性会も参加し、ニラ玉スープや赤飯など、地元農産物を豊富に使った料理や農産物加工品で、参加者をもてなし、地元農産物の魅力をアピールしました。



自慢の栄養たっぷりのおいしいニラ玉スープはいかがですか？

JAくらしの活動めぐり親子うきうきクラブ開講



8年目となる今年は、管内から親子28組77人が参加しました。うち、3分の2は以前にも参加したことのあるリピーターと人気の高い活動となっています。5月14日に開講式を兼ねて第1回活動を開きました。サツマイモ・里芋の定植体験をした他、イチゴの収穫体験を行い、楽しみながら農業について理解を深めました。



この植物はなんだろう？
早く大きくなるといいなあ。

メリーランド保育園の園児に古代米の田植えを指導



5月26日に壬生町メリーランド保育園の年長児童30人が古代米の田植えに挑戦しました。今年には保護者の皆さまも参加し、田1.5アールに苗箱10箱分の苗を植えました。園児は田植え終了後に「初めはドロドロして変な感覚だったが、徐々に慣れて田植えを楽しむことができました。また、田植えをやりたい」と、うれしそうな表情で話しました。



生産者による古米の田植えを園児に指導する。

デイサービスセンター「ひだまり」地域交流会で演芸楽しむ



デイサービスセンター「ひだまり」は6月19日に初めての試みとして落語や漫談といった演芸を行い楽しみました。3人の出演者が落語、ギター漫談を披露しました。3人とも芸歴20年を超えるベテランで熟練された話芸に、客席は笑いが絶えず、会場は大いに盛り上がりました。

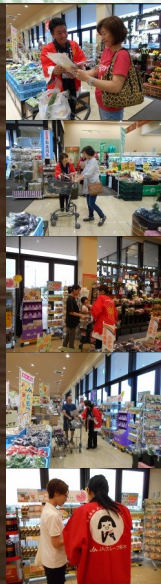


ギター漫談を披露する主演者に客席の笑は最高潮。

街頭宣伝活動



7月15日、栃木市内のヨークベニマル3店舗で「みんなのよい食プロジェクト」街頭宣伝活動を行いました。これは、毎月18日の「3食ごはんの日」にちなんだ取り組みです。職員が店舗内の産直コーナーで買い物客に地産地消や米飯を呼びかけました。



今晚の夕食にいかがですか？



子供食堂開店！ JALもつげが食材を提供



8月6日、子供食堂「ひまわり」がオープンしました。市内の一人親・共働き世帯の子供に勉強を教え、遊び場や手作り料理を提供するものです。この取り組みにJALもつげからも、地元農産物を無償提供し、活動を支えました。初日の献立は、カレーナスの煮浸し、カボチャのレモン煮、サラダ、キュウリの漬物でした。



このトマト新鮮でおいしそう！早く食べたいなあ。



地域貢献に関する取り組み

農業振興活動

農業をめぐる環境は農業従事者の高齢化等極めて厳しい状況になっています。JAには、地域農業の特性を活かした基本目標を設定し、これらの実践を通じて農家所得の向上、地域の活性化等が求められます。

当JAは、「地域農業の持続的発展」を目指して、地域の特性を活かした農業振興と心のゆたかさを実感できる生活環境の提供に努めています。

■ 担い手への支援

当JAでは認定農業者・主業農家・集落営農組織等を「主要な担い手」と位置付け、JAの販売事業の基軸を担う者として、規模拡大に向けた生産技術指導や契約販売の拡大、肥料や農薬などの大口利用割引、経理支援などの各種支援を強化しています。

■ 耕作放棄地の拡大防止



耕作放棄地の拡大防止のため、特に担い手不在地域における農業の受け皿としてJA出資による農業生産法人「(株)グリーンファームしもつけ」を設立し、農地の賃借と農作業の受託を行っています。



■ 新たな担い手づくり

当JAでは地域農業の持続的な発展のために農業資金融資や研修先の紹介など新規就農者の確保・育成を強化しています。また、定年帰農者や自給的農家に対しては栽培講習会の開催などにより直売所への農産物出荷を促し、所得の確保と地域の活性化を図っています。

■ 食農教育への取り組み



国産農産物の重要性・安全性や農業の持つ多面的な機能について国民的理解を深めるため「みんなのよい食プロジェクト」のPR活動やコミュニティー紙の発行を行っています。

よい食とは？



おいしい食のこと。
楽しい食であること。
家族の健康を支えるもの。
よい暮らしそのもの。



コミュニティー紙

■ 営農指導体制の強化



本店営農部に配置された広域営農指導員や各地区営農経済センターに配置された営農経済渉外員を中心に、県農業振興事務所と連携し、農畜産物の品質向上及び生産者手取り向上のための営農指導を行っています。

■ 共同利用施設の整備



ライスセンターや青果物集出荷場、選果場、育苗センターなどの農業者の営農負担を軽減し、高品質な農畜産物を生産するための共同利用施設の整備を積極的に行っています。平成25年3月29日には管内中北部の栃木・都賀・壬生地区における優良水稻苗の安定供給体制を整備することを目的に「北部水稻育苗センター」が建築されています。

■ 環境にやさしい農業の推進

安全性確保のため、生産履歴記帳運動、GAP(農業生産工程管理)の取り組み、IPM防除(物理的・生物的・耕種的・化学的防除を組み合わせた人・環境にやさしい総合防除法)の普及推進に努めています。また放射性物質汚染の対策として、関係機関と一体となりモニタリング検査の実施、結果公表に努めています。

■ 消費者との交流



農産物直売所を、地域の消費者の皆さまに新鮮で安全な農産物を提供するとともに、生産者と消費者が交流を図るための「場」として位置付け、その運営を強化しています。また地域の消費者にモニターとなっていただき農産物の生産・流過程を見学し、食の安全性を検証していただく取り組みを行っています。

JAくらしの活動

JAくらしの活動とは組合員や地域住民が、くらしの中での様々な思いやニーズを実現していくために行う自主的な活動に対して、JAが食農教育や高齢者生活支援、その他JAの総合事業が持つ地域のライフライン機能を生かして様々な面からサポートし、またJA自らも取り組んでいく活動です。この活動を通じて組合員のみならずJA事業に賛同する人々をJAの仲間として組合員化をすすめ、「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」を目指しています。



あぐり親子うきうきクラブ

管内の親子に食や地元農業について楽しく学んでもらうことを目的とした食農体験講座を開設しています。会員を対象とした講座が年間通して開催され、農作物の栽培・収穫体験や地元農産物を使った料理体験などを行っています。



農業体験学習

管内の小・中学校と連携し、農業体験学習や農産物集出荷場やライスセンターなどの施設見学の受け入れなどを行っています。また学校給食への地場産農産物の供給にも取り組んでいます。



JALもつけ女性大学

女性を対象に仲間づくりや生きがいの場を提供することを目的にJA女性大学を開設、米粉パン作りや草木染め、クラフトバッグ制作などの講座を行っています。地域の女性の幅広い参加を得て、新たな交流が生まれています。



認知症サポーター養成会

高齢化が進むなか、認知症の方やその家族が安心して暮らせるよう、また、安心して当JAをご利用いただけるよう認知症サポーターを養成し、当JA職員を対象に開催され、認知症の特徴や認知症の方への接し方などについて学習しています。

JAくらしの活動の
活動内容をご紹介します。



振り込め詐欺対策講習会

年金友の会会員や組合員を対象として、振り込め詐欺対策講習会を開催しています。講習会は栃木警察署の警察官が講師を務め、振り込め詐欺の発生状況やその手口、被害に遭わないための留意点などを講習しています。



助け合い組織「ひまわり会」

当JAでは地域高齢者のためのボランティア組織であるひまわり会を組織し、女性会会員を中心に構成されており、高齢者向けの簡単に行える料理教室やデイサービスセンターへの訪問活動など幅広い活動を実施しています。



デイサービスセンター地域交流会

当JAでは通所介護施設デイサービスセンターひだまりを地域住民の交流の場と位置付けて地域交流会を実施、施設見学や、デイサービス職員によるバイタルチェックや健康体操の講習等を通じて高齢者福祉事業に対する理解促進を図っています。



健康寿命100歳プロジェクト

健康寿命とは日常的な介護を必要とせず健康的で自立した生活を送ることができる期間です。100歳まで健康に暮らせる地域社会の実現を目指して、ウォーキング講習などの健康講座や長寿レシピの開発などを行っています。

地域貢献活動

当JAは、栃木市(西方町除く)及び壬生町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される農業協同組織です。当JAは「地域になくはないJA」を目指して運営・経営にあっております。当JAの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAの「貸出金」は資金を必要とする組合員の皆さまや地方公共団体などにもご利用いただいております。また、JAの総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

■地域からの資金調達及び地域への資金供給の状況

組合員・地域の皆さまからの信頼のもと、大切な財産をお預かりしています。また組合員をはじめ、地域の皆さまに必要な資金をご融資し、地域経済の発展を目指しています。

■貯金・積金平均残高

項目	平均残高
組合員等	150,456百万円
うち公共団体	4,673百万円
その他	38,454百万円
合計	188,911百万円

■貸出金平均残高

項目	平均残高
組合員等	16,884百万円
うち公共団体	5,847百万円
その他	2,190百万円
合計	22,731百万円

■融資商品取扱状況

項目	平均残高
住宅ローン	13,827百万円
教育ローン	47百万円
自動車ローン	522百万円
営農ローン	68百万円
日本政策金融公庫資金	－百万円
農業近代化資金	234百万円
畜産特別資金	－百万円
災害条例資金	－百万円
その他	8,032百万円
合計	22,731百万円

■文化的・社会的貢献に関する事項

JAは農業者が中心となって構成され、地域農業の振興を図り、消費者に安全で安心な農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。このため、農業関連事業を中心に総合的な事業を展開しております。加えて、組合員以外の一般の方にも各種事業を利用していただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任と、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保する公共的使命を果たしています。

■文化的・社会的貢献への取り組み

国産農産物の重要性・安全性や農業が持つ多面的機能への理解促進を図るため、「みんなのよい食プロジェクト」PR活動や「食と農業に関するモニター現地交流会」を実施し、また、次代を担う児童・生徒たちに対しては、学校給食への地元農畜産物の提供や農業体験学習の実施、図画・作文コンクールの開催など、農業への関心を高める取り組みを行っています。また、高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを目指し、高齢者生活支援事業や、認知症サポーター養成研修会を実施しております。



平成28年4月14日より熊本県を中心として発生した熊本地震に対し、職員のボランティア派遣等の支援活動を実施しています。なお、東日本大震災の被災地に対しては、平成23年度から継続して職員のボランティア派遣等の支援活動を実施しております。



■利用者ネットワーク化への取り組み

当JAでは、組合員相互の親睦を図ることはもちろん、地域の皆さまとの結びつきを強化するため、年末に催されるJAまつりや、農産物直売所を拠点とした生産者と消費者との交流活動を行っています。また、年金友の会会員によるグラウンドゴルフ大会やゲートボール大会の開催など利用者ネットワークづくりをすすめています。



■地域密着型金融への取り組み

当JAは、農業者の協同組合金融機関として、健全な事業を営む農業者をはじめとする地域の皆さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを、重要な役割の一つとして位置付け、金融機関が担う社会的責任と公共性を強く認識しながら、金融円滑化にかかる基本方針等に基づく適正な業務の遂行に努めております。

■農業者等の経営支援に関する態勢整備

当JAでは、ご利用者からの新規融資や貸付条件の変更等の申し込みに対し、円滑な措置をとることができるよう態勢を整備しています。

■地域密着型金融への取り組み

当JAは農業者等の経営支援に関して、以下の具体的取り組みを実施しています。

- 生産者と消費者をつなぐ場の設定
- 担い手に対する経営指導等の強化
- 国・地方公共団体の農業施策の活用
- 負債整理資金の提供による償還負担軽減
- 農産物加工所・直売所への支援
- 親子農業体験教室等の実施
- 食農教育事業の展開



JALもつけの特産品

当JAでは消費者の皆さまに安全・安心な農産物をお届けするため、生産履歴記帳運動やGAP(農業生産工程管理)、IPM防除(物理的・生物的・耕種的・化学的防除を組み合わせた人・環境にやさしい総合防除法)に積極的に取り組んでいます。

管内で生産されている主な農産物は以下のとおりです。



とちおとめ、スカイベリー
栃木のいちごは日本一!!

Strawberry イチゴ

栃木県は全国1位のイチゴの産地です。この記録は昭和43年から今まで破られることはありません。鮮やかな赤、ととのった大粒、そしてバランスのよい食味が自慢の「とちおとめ」の他、平成24年にはより大玉で甘い「スカイベリー」が登場しました。



主な生産地 管内全域

主な品種 とちおとめ スカイベリー



関東屈指の産地が育む
大粒ブドウを召し上がれ

Grape ぶどう

大平地区から岩舟地区にかけて大規模な「ぶどう団地」が形成され、県内観光の一翼を担っています。水切れの良い畑で太陽の光をまんべんなく受けて育ったJALもつけ管内のブドウは大粒で甘く食味も良いと評判です。



主な生産地 栃木 大平 藤岡 岩舟

主な品種 巨峰 シヤインマスカット他



味よし・栄養・スタミナ
たっぷりのニラをお届け

Leek ニラ

栃木県におけるニラの生産量は、全国第2位。JALもつけ管内では、ニラ栽培に適した気候風土を生かした栽培をしています。1年を通じて、栄養たっぷりでスタミナ抜群、甘味があって風味がよいニラを皆さまの食卓にお届けします。



主な生産地 管内全域

主な品種 ワンダー グリーンロード



豊かな日照で育った
ジュシーな甘さが売ります

Tomato トマト

肥沃な大地と澄んだ水、冬季の豊富な日照に恵まれたJALもつけ管内では、施設園芸としてのトマト栽培が盛んです。最新の設備と徹底した品質管理のもと生産される安全・安心なトマトです。



主な生産地 管内全域

主な品種 マイロック 麗容 ファースト



生産者のこだわり光る
とちぎ和牛、とちぎ霧降高原牛

Beef 肉牛

とちぎ和牛は、血統の明確な黒毛和種の子牛を、一頭一頭清潔な環境で丹精込めて育てた黒毛和牛です。またとちぎ霧降高原牛は、統一された飼養マニュアルと厳選された指定飼料を使い、愛情込めて育てた交雑牛です。



主な生産地 栃木 都賀 大平 藤岡 岩舟

主な品種 黒毛和牛 交雑種



栃木の梨は
幸豊かににっこりと

Pear 梨

寒暖の差が大きく適度な雨量があり肥沃なJALもつけ管内は、果物の生産にうってつけ。さわやかな甘さの幸水や甘みと酸味のバランスのよい豊水。豊満な新高と味のよい豊水の交配から生まれた栃木県オリジナルの品種「にっこり」も人気です。



主な生産地 壬生 岩舟

主な品種 幸水 豊水 にっこり

金融再生法開示債権

(単位:百万円)

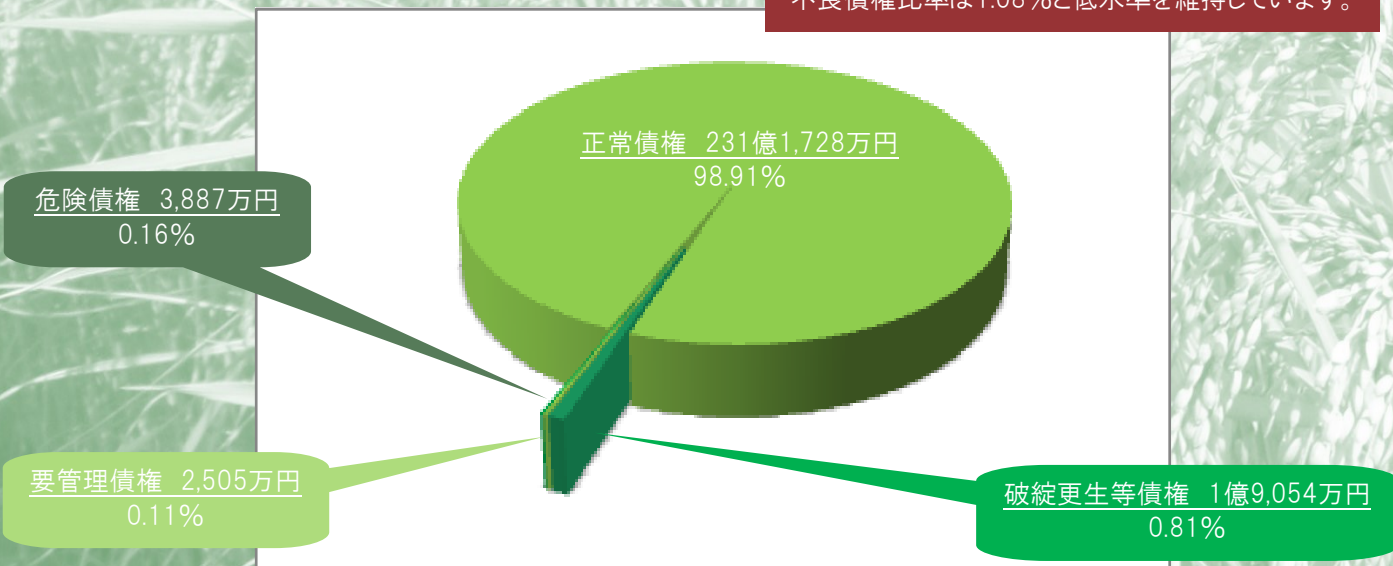
債務者区分	平成28年2月末	平成28年8月末	増減額	購買未収金(参考)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (A)	202	190	△12	0
危険債権 (B)	42	38	△3	4
要管理債権 (C)	25	25	0	—
小計 (D=A+B+C)	270	254	△15	5
正常債権 (E)	23,293	23,117	△176	927
合計 (D+E)	23,563	23,371	△192	933

- (注)1. 平成28年2月末から8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。
2. 債権区分は、次の通りです。
- ①破産更生債権及びこれらに準ずる債権
 - ・法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する信用事業債権です。
 - 〔資産査定における破綻先、実質破綻先〕
 - ②危険債権
 - ・経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い信用事業債権です。
 - 〔資産査定における破綻懸念先〕
 - ③要管理債権
 - ・3か月以上延滞貸出債権(元金)及び条件緩和貸出債権(元金)です。
 - 〔資産査定における要管理先のうち3か月以上延滞貸出金と貸出条件緩和債権〕
 - ④正常債権
 - ・債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び要管理債権以外のものに区分される信用事業債権です。地方公共団体等への債権も含まれています。
3. 購買未収金
購買未収金を参考として開示しております。なお、金融再生法債権区分に基づく購買未収金開示の債権区分と資産査定における債務者区分との関連は、次の通りです。

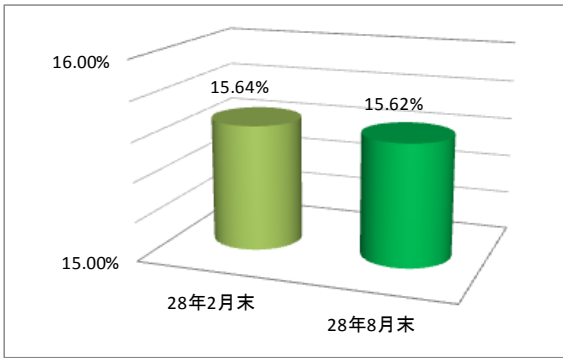
債務者区分	資産査定債務者区分
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	破綻先・実質破綻先
危険債権	破綻懸念先
要管理債権	要注意先のうち要管理先
正常債権	要注意先のうちその他要注意先及び正常先ならびに地方公共団体等

開示債権の構成比

不良債権比率は1.08%と低水準を維持しています。



単体自己資本比率



自己資本比率とは、経営の健全性を示す指標の一つで、JAが保有する貸出金や有価証券等のリスクがある資産に対して出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示し、自己資本比率は数字が高いほど、一般的に組織に体力があると考えられています。

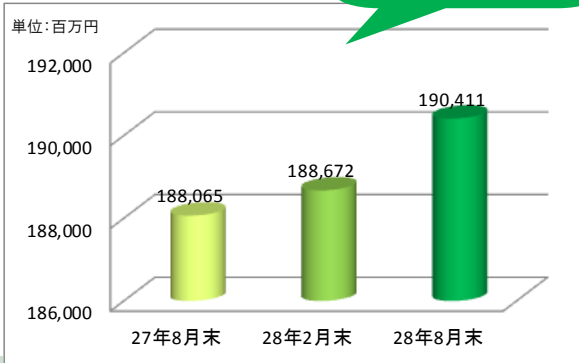
自己資本比率は、国内基準では4%以上と定められていますが、JAバンクでは自主ルールにより基準を8%以上と独自に健全性のハードルを高くしています。

(注) パーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しております。なお、28年8月末の比率は、当JAの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

主要勘定の状況

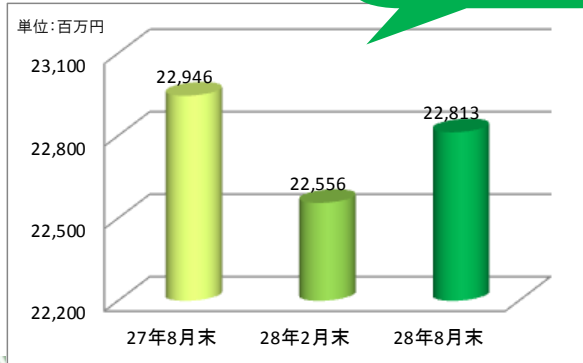
貯金

1,904億円
前年末対比 +17億円



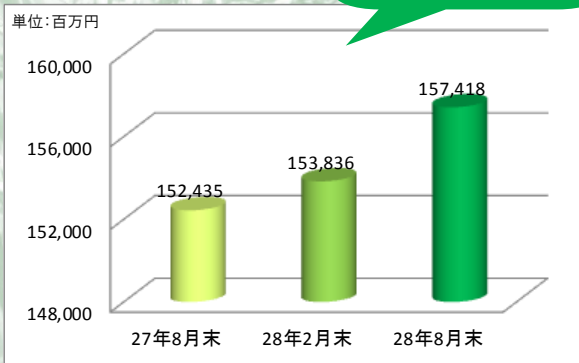
貸出金

228億円
前年末対比 +2億円



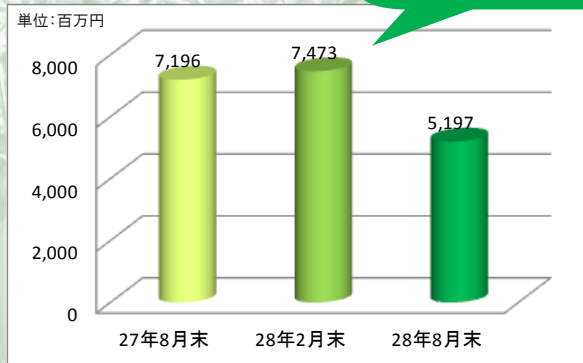
預金

1,574億円
前年末対比 +35億円



有価証券

51億円
前年末対比 △22億円



有価証券等の時価情報等

(単位:百万円)

項目	平成28年2月末			平成28年8月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	1,500	1,500	—	—	—	—
その他	5,697	5,973	276	5,197	5,418	220
合計	7,197	7,474	276	5,197	5,418	220

(注) 1. 本表記載の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価により計上したものです。
2. 売買目的有価証券については、当JAでは投機的運用を行わないため保有しておりません。
3. 取得価額は償却原価法(アモチ・アキュム)適用後、減損処理前のものです。

店舗一覧

■本店

企画総務部	栃木市片柳町2丁目1-44	TEL : 0282-24-1180
監査室		TEL : 0282-24-7517
CSR対策室		TEL : 0282-20-8838
営農部		TEL : 0282-20-8828
経済部		TEL : 0282-20-8826
金融部		TEL : 0282-24-1183
共済部		TEL : 0282-24-1182



■金融・共済店舗

栃木駅前支店	栃木市河合町3-26	TEL : 0282-20-8821
栃木東支店	栃木市大宮町1420-1	TEL : 0282-27-2525
栃木西支店	栃木市吹上町1183-3	TEL : 0282-31-1794
都賀支店	栃木市都賀町原宿874-1	TEL : 0282-27-5611
壬生支店	壬生町大字福和田1001-9	TEL : 0282-82-1111
大平支店	栃木市大平町西野田1-6	TEL : 0282-43-2344
藤岡支店	栃木市藤岡町赤麻1740	TEL : 0282-62-4333
岩舟支店	栃木市岩舟町静880-1	TEL : 0282-55-3333



■営農経済センター

栃木地区営農経済センター	栃木市大宮町1422	TEL : 0282-27-6511
都賀地区営農経済センター	栃木市都賀町原宿864-1	TEL : 0282-27-1881
壬生地区営農経済センター	壬生町大字福和田1001-9	TEL : 0282-82-1103
大平地区営農経済センター	栃木市大平町上高島752-1	TEL : 0282-43-0800
藤岡地区営農経済センター	栃木市藤岡町赤麻1740	TEL : 0282-62-4336
岩舟地区営農経済センター	栃木市岩舟町下津原462-1	TEL : 0282-55-3211

■その他事業所

ニューアプロニー	栃木市河合町3-26	TEL : 0282-22-8743
デイサービスセンターひだまり	壬生町大字藤井1645-3	TEL : 0282-81-0377



■農産物直売所

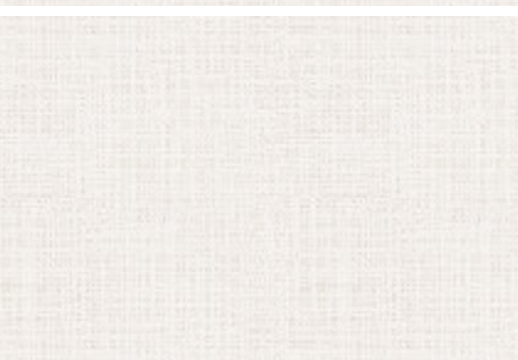
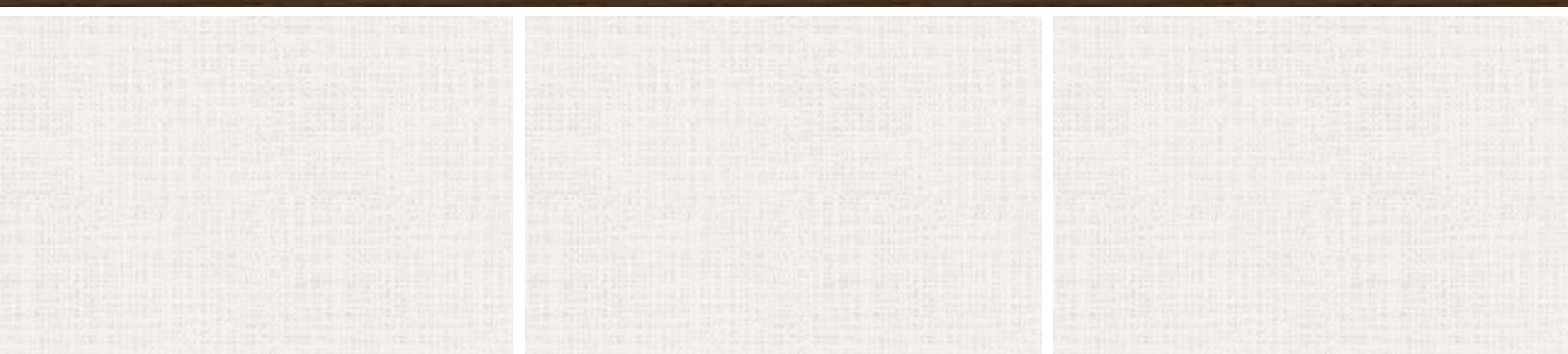
とちぎ農産物直売所 「よっとこれ」	栃木市大宮町1419-5 TEL：0282-27-8555	営業時間：午前8:45～午後4:00 定休日：火曜日
都賀生出荷里農産物直売所	栃木市都賀町大柿334-5 TEL：0282-91-1181	営業時間(3～10月)午前8:30～午後5:00 営業時間(11～2月)午前8:30～午後4:30 定休日：無休
みぶ農産物直売所 「いなばの郷」	壬生町大字上稲葉1664 TEL：0282-82-8361	営業時間：午前9:00～午後4:00 定休日：無休
みぶハイウェーパーク農産物直売所 「みらい館」	壬生町大字国谷1870-2 北関東道みぶハイウェーパーク内 TEL：0282-82-8838	営業時間：午前8:30～午後6:00 定休日：無休
大平カインズモール農産物直売所 「愛菜果」	栃木市大平町下皆川700 TEL：0282-45-1772	営業時間：午前9:30～午後6:00 (土日祝日は午前9:00～午後6:00) 定休日：無休
ゆうゆうプラザ農産物直売所	栃木市大平町西野田666-1 TEL：0282-43-0800	営業時間：午前10:00～午後2:00 定休日：月・火・木・土曜日
いわふねフルーツパーク農産物直売所 「花野果ひろば」	栃木市岩舟町下津原1587 TEL：0282-55-8485	営業時間(3～10月)午前8:30～午後5:00 営業時間(11～2月)午前8:30～午後4:30 定休日：第1・3月曜日(祝日の場合火曜日) 3・4月は無休



■葬祭センター

葬祭センター	栃木市平柳町2-23-7	TEL：0282-29-1788
グリーンプシア	栃木市沼和田町29-33	TEL：0282-25-3366
ひらやなぎホール	栃木市平柳町2-15-24	TEL：0282-29-1567
アトラス壬生ホール	壬生町寿町5-23	TEL：0282-82-6556
おおひらホール	栃木市大平町富田5003-11	TEL：0282-45-1400
藤岡中央ホール	栃木市藤岡町大前1229-1	TEL：0282-62-5211
いわふねホール	栃木市岩舟町和泉680-1	TEL：0282-55-8787





▲ 下野農業協同組合

栃木県栃木市片柳町2丁目1番44号
TEL: 0282-24-1180 (代)
<http://www.ja-shimotsuke.or.jp/>